

地域連携NEWS



地方独立行政法人

東京都健康長寿医療センター

TOKYO METROPOLITAN GERIATRIC HOSPITAL AND INSTITUTE OF GERONTOLOGY

地方独立行政法人
東京都健康長寿医療センター
地域連携部医療連携室

Vol.50 2014.5 発行

〒173-0015

東京都板橋区栄町35番2号

TEL03(3964)1141(代表)

FAX03(3964)1982(代表)

耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍外来開設のご紹介

耳鼻咽喉科医長 木村 百合香



耳鼻咽喉科顧問医
岸本 誠司



耳鼻咽喉科 医長
木村 百合香

頭頸部は嚥下、咀嚼、発声、呼吸といった生きるうえで最も基本的な機能を有する場所です。この領域に生じる頭頸部腫瘍の治療には、こういった機能や整容面の問題などが患者さんのQOLに大きく関わることから、難しい選択を迫られる場合があります。当センター耳鼻咽喉科ではこれまでも口腔、喉頭、咽頭、鼻副鼻腔、甲状腺、唾液腺などに生じた頭頸部腫瘍診療を行っていましたが、昨年度の新病院移転にともなう高齢者がんセンターの新設以来、こうした頭頸部腫瘍診療のさらなる充実を目標に掲げて参りました。そこで、本年4月より本邦における頭頸部がん診療・頭頸部外科手術の第一人者である岸本誠司東京医科歯科大学名誉教授を顧問医に招聘し、頭頸部腫瘍外来を開設することになりました。

本外来の開設により、咽頭表在癌の早期発見に有用なNBI内視鏡による診察や、CT・MRI・PETといった画像検査、経験豊富な病理診断医による病理組織診断、最新の手術器械を用いた外科治療の他、放射線治療や近年頭頸部がんにも適応となった分子標的薬を用いた化学療法といった、頭頸部腫瘍の集学的な診断・治療が可能となりました。ただし、当院には形成外科医が不在であることから、拡大手術を要する進行癌症例は他院へご紹介させていただいております。

また、これまでの当科の二本柱でありました慢性中耳炎の手術治療と嚥下障害診療にもより一層積極に取り組む所存です。慢性中耳炎の手術は、長年悩まされていた耳漏や難聴から解放されることから、患者さんの満足度が非常に高い手術です。また、高齢化社会における耳鼻咽喉科頭頸部外科医の役割として、嚥下障害診療の需要が高まっています。嚥下障害に対し外科的治療ができるのが耳鼻咽喉科医の強みであり、リハビリテーション科と合同で診療にあたっているのが当科の強みであります。昨年度は2件の嚥下改善手術と5件の誤嚥防止術を施行し、うち6例で経口摂取が維持あるいは回復しています。

これら三本の柱の他にも、高齢者のQOL向上を目指した耳鼻咽喉科診療全般を志す所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

頭頸部腫瘍外来(岸本医師担当)：毎月第1週、第3週木曜日午前中 要予約
(原則として紹介状をお持ちの方のみ)



図1 NBI内視鏡の表在癌病変における有用性下咽頭癌 右梨状窩原発
右：通常光画像：腫瘍の範囲の同定は難しい
左：NBI画像：異常IPCL像が梨状窩粘膜全体に広がる

図2 超高齢者における頭頸部がん治療の取組
喉頭癌(95歳男性、T3N0)
喉頭全摘術施行の後、在宅にて健在

予約専用電話	検査予約	医療連携室
(外来予約専用) 03 (3964) 4890 (対応時間) 月～金 9:00～17:00 当センターは紹介予約制です。ご紹介の際は、紹介状とご予約をお願いいたします。	(代表電話番号) 03 (3964) 1141 (対応時間) 月～金 9:00～17:00 ◎CT、MRI、骨密度 (内線2187) ◎RI (SPECT・PET検査) (内線2154) 検査科にてスムーズな予約対応を行っております。	連携室直通電話を開設いたしました。 03 (3579) 6963 (対応時間) 月～金 9:00～17:00 医療連携についての問い合わせ 03 (3964) 1141 (代表電話番号) (医療連携室内線: 1139、1140、1141、1142) FAX 03(3964)1392 (医療連携室直通) ホームページ: http://www.tmgig.jp/ (過去の地域連携NEWS、講演会のご案内、医療連携室のご案内はホームページでご覧いただけます。)

血管外科 2つの特徴



血管外科部長
中澤 達

血管外科は、外科・血管外科として常勤医8名で病棟と外来の診療を行っています。年々手術件数は増加し、手術時に非常勤医を東京大学血管外科より動員することにより年間約**270件の手術**を行っております。

当科の特徴は、2つあります。第一に血管センター外来ブースの隣に**血管検査室**を持つことです。血管生理検査である血管エコー、脈波、皮膚灌流圧検査を血管診療技師 (CVT; Clinical Vascular Technologist)3名、超音波検査士7名により施行し、**初診日の迅速な診断を可能**としています。

第二に、中央手術室内に**ハイブリッド手術室**を擁することです。血管造影の操作に対応するX線を透過するカーボン製の手術台に、高性能の血管撮影装置を装備しました。そこでバイパス手術と血管内治療を組み合わせたハイブリッド手術などの低侵襲手術を行っています。

現在、ハイブリッド手術として腹部大動脈瘤に対する**ステントグラフト内挿術**が盛んに行われています。また、胸部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術も始まっています。いずれの場合も、開腹あるいは開胸より遥かに低侵襲な手術となりました。閉塞性動脈硬化症に対してはバイパス手術と血管内治療(ステント留置)の同時施行ができることにより適応を拡大しました。

さらに、下肢静脈瘤の最新治療として、**血管内レーザー焼灼術**を行っています。レーザーファイバーの穿刺と2mm程度の傷のみで治療が完了し術後の満足度も高まりました。

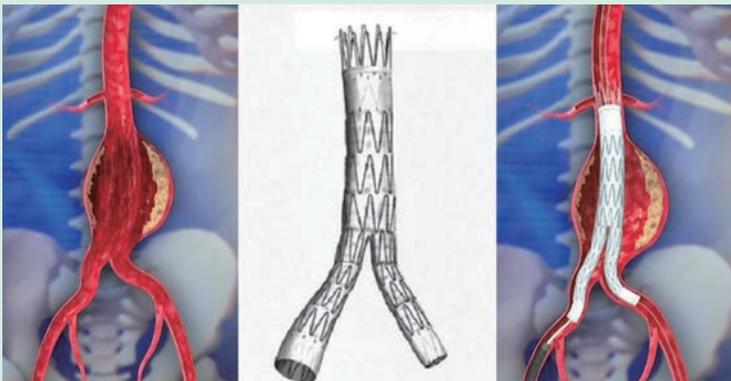
血管外科は医療器具・技術の革新により、低侵襲な血管内治療の適応となる症例が増加しています。従来の血管外科手術においては適応外とされていた高齢患者への手術適応も拡大し、ハイブリッド手術がさらに増加する見込みです。急性疾患も含めて血管病のご紹介よろしく申し上げます。



血管検査室 左から皮膚灌流圧、脈波、診療端末、血管エコー



ハイブリッド手術室
大型モニターを見ながらの腹部大動脈瘤治療



腹部大動脈瘤のステントグラフト内挿術



地方独立行政法人
東京都健康長寿医療センター
TOKYO METROPOLITAN GERIATRIC HOSPITAL AND INSTITUTE OF GERONTOLOGY

アクセス

- 東武東上線「大山」駅下車、南口・北口より徒歩4分
- 都営地下鉄三田線「板橋区役所前」駅下車A2出口より徒歩11分

また、お車で越しの方に駐車場(駐車料無料)も御用意しております。駐車台数に限りがあることを、あらかじめご承知おきください。

